

JEAS News

vol. **34**

2021 春号

コロナ対応に学びLP跳躍へ つながる心 …感謝 認定個人情報保護団体へ…

なるほど!万引防止・
ロス対策情報は
JEAS Facebook



～防犯民主主義実現に向けて～
EAS機器と防犯カメラとロスプリベンション推進のための工業会



3月7日から12日に京都コンgres(第14回
国連犯罪防止刑事司法会議)の大成功に向け
て、当工業会は万引犯罪の予防措置・再犯防
止などについて、バーチャル展示で協力いた
します。

JEAS News

第34号

目 次

EAS、カメラ分野を担当する工業会として	2
ごあいさつ 工業会 日本万引防止システム協会 会長 稲本義範	3
京都 kongress の開催について 法務省大臣官房国際課 課長 柴田紀子様	4
感謝 令和2年9月30日認定個人情報保護団体に認定	4
認定個人情報保護団体認定の祝辞 有徳の士の方々より	5
工業会 JEAS セミナー	6
第6回 JEAS 講習会	7
15分勉強会について	7
新会員紹介	7
感謝状贈呈	8
第4回宵カフェ開店	8
海外から来られた新たな仲間 vol. 2	8
‘声’つながる心 2020年の出来事と2021年の抱負	9
京都 kongress とセキュリティショー2021の予定	13
全国万引犯罪防止機構「ロス対策士資格試験制度」のご紹介	13
工業会 日本万引防止システム協会のご案内	14
工業会 日本万引防止システム協会 役職一覧・組織図	表3
工業会 日本万引防止システム協会 会員名簿 ご相談窓口について	表4

EAS、カメラ分野を担当する工業会として

中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明
[分野: 電子商品監視機器、防犯カメラ] に関するお知らせ

- (1) 2017年度税制改正により、中小・小規模事業者の「攻めの投資」を後押しするため、従来の産業競争力強化法に基づく「中小企業投資促進税制の上乗せ措置」を改組し、中小企業等経営強化法に基づく「中小企業経営強化税制」が創設されました。
- (2) また、中小企業等経営強化法に基づく「固定資産税の特例措置（地方税）」においても、対象設備細目が2017年4月1日から拡充されました。
- (3) 当協会としては、ユーザー様及び会員の要望に応えるため、さらには「攻めの防犯」と「防犯民主主義」(<http://www.jeas.gr.jp/pdf/20180307.pdf>)を推進するために、2018年1月25日の理事会承認を経て2018年2月1日より本証明書の発行受付をスタートしました。
- (4) さらに、2017年度税制改革により中小企業等経営強化法と2018年度生産性向上特別措置法（市町村の判断により、新規取得設備の固定資産税が最大3年間ゼロになる）の先端設備等に係る生産性向上要件の証明証が一本化されました。当協会の会員および会員外の設備メーカーも申請できますので、ご活用ください。2018年11月5日に申請フォームが変更になっております。
- (5) なお、中小企業経営強化税制につきましては、2023年3月31日まで延長されることとなりました。
詳しくは工業会ページをご参照ください。<http://www.jeas.gr.jp/intro08.html>

JEAS Facebook も絶賛公開中！

<https://www.facebook.com/JEAS.JAPAN/>





いつも大変お世話になっております。新たな年が始まり、1ヵ月が過ぎました。

平成14年設立のJEASは、平成30年には経済産業省よりEASと防犯カメラ分野の工業会認定を受け、昨年は個人情報保護委員会指定の認定個人情報保護団体となり、万引防止システム関連に従事するあらゆる企業が参画する総会員数47法人の産業団体に成長しております。

コロナによって私たちが知っている日常は一変しました。パンデミックによって引き起こされる急激な変化を制御することはできませんが、それにどう対処するかは私たちの問題です。一例として、当工業会はコロナ感染予防のために、サーモカメラを昨年3月23日に国の税制優遇機器に加えました。7月30日には冊子「店舗やさまざまな施設でのサーモグラフィ・システムの普及に向けて」を発表しました。これは、過去のスペイン風邪がそうであったように、冬場に感染ピークが来ると想定しての措置で、この半年で多くの施設でサーモカメラが活用されるようになりました。

ちなみに、感染拡大防止には、短期的に見ると独裁的な手法の方がよかったという意見がありますが、長期的にみれば「自分達の政府を自分達で支える」という精神を弱めることになります。危機の時にこそ民主主義の精神を強化すべきなのだと思います。

さて、最近の万引犯罪の状況ですが、昨年11月に発表された第16回東京万引き防止官民合同会議の統計資料によると、緊急事態宣言前後の比較では、高齢者や女性の万引検挙数がスーパー、ドラッグストア、コンビニで増えています。各地域の防犯関係者にお聞きしたところでは、この増加傾向は概ね全国でも同じ状況です。背景として、コロナの影響は非常に大きく、外出の抑制などで社会的に立場の弱い方ほど社会的孤立を深めており、その影響が万引増加につながっていると思われます。これに加え、マイバッグを使った万引やセルフレジの不正利用なども増加しているとの情報もあり、警察や各小売業団体、全国万引犯罪防止機構と連携し、実態把握に努める所存です。

万引防止システムに関して、大型商業施設や専門店チェーンでは、顔認証システムの普及が進んでおります。さらにJEAS各社からも中型店や小型店用の顔認証内蔵IPカメラの提供が始まりましたので、商店街などにも普及が加速するものと思います。EASステッカーの出荷枚数や工業会申請数（主にカメラ）は昨年のは前半は減少傾向でしたが、今のところ復調しております。

一方で、その画像を扱う機器は、安全性と個人情報保護等の遵守が社会的要請となっております。そのため、国内の大手メーカー等が結集し、小売業向け万引防止用「推奨顔認証システム制度」を創設しました。昨年6月に、ガイドラインに基づく審査に合格した4社4システムを認定機種として報道発表しました。

さらに、それらのシステムを安全にしかもの確に操作するためのスキルを持った科学的保安警備員（万引Gメン）を養成するプロジェクト発足も検討しています。万引Gメンがよりの確に来店客の応対ができる仕組みが地域社会には必要と考えます。

工業会になると、「防犯民主主義の実現のため」という目標を掲げました。そのためには、防犯面においては誰も置き去りにしないこと、対策面においては関係者内で必要情報を共有することが大切です。ある店が万引を減らしたとしても、他の店が改善できなければ、万引は無くなりません。また、改善できたと思われていた店舗も再度被害に遭うことがあります。皆でレベルを上げなければ万引犯罪は減少へと向かわないことを理解した上で、今こそ、企業・地域・行政が一体となって連携することが不可欠です。

工業会JEASは防犯民主主義実現の旗の下、ロス対策と万引撲滅を目指す唯一のソリューション工業会として、「万引犯罪をさせない店舗作り」の推進を通じて、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止や高齢者等の孤立防止という産業的、社会的役割を果たすべく、所轄官庁はじめ関連諸団体のご支援をいただきながら活動して参ります。引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



コロナの渦中、昨年5月に移転したJEAS新事務所
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1
YOTSUYA TOWER 7階



京都コンGRESの開催について

法務省大臣官房国際課 課長 柴田 紀子 様



貴協会会報においても御紹介いただいております第14回国連犯罪防止刑事司法会議、いわゆる京都コンGRESが2021年3月7日（日）から12日（金）までの間、開催されます。

コンGRESは、5年に1度開催される犯罪防止・刑事司法分野における国連最大の会議で、各国の司法大臣、検事総長等を含む世界中の刑事司法関係者が集い、同分野における各国の取組や国際協力の在り方について議論します。京都コンGRESは、「2030アジェンダ（いわゆるSDGs）の達成に向けた犯罪防止、刑事司法及び法の支配の推進」を全体テーマに掲げ、SDGs達成のための刑事司法の役割はもとより、テロ、組織犯罪、腐敗、サイバー犯罪対策など、犯罪防止・刑事司法に関する国際社会の喫緊の課題について議論し、国連及び加盟国の本分野における取組の中長期的な指針となる「京都宣言」が成果文書として採択される予定です。第14回目となる今回は、50年ぶりに我が国がホスト国となり、京都で開催されます。

今回、コロナ禍により、コンGRES始まって以来初めて、オンライン会議システムを幅広く活用し、来場参加とオンライン参加を組み合わせたハイブリッド方式により開催されますが、会議のオンライン配信やバーチャル展示などオンライン参加者向けにも十分なコンテンツを用意しており、世界に向けて日本の政府、民間双方の犯罪防止の取組を発信する絶好の機会です。

犯罪なき平和な社会を実現する上では、捜査機関などの政府の取組のみならず、まさに皆様方が日々邁進されている万引防止システムやサービスの開発、その運用支援といった民間における取組、そして地域社会の取組と相互の連携が重要です。このことは、京都コンGRESの中心テーマとなっている、持続可能な開発目標、SDGsにおいて、そのゴール17に、政府、民間様々なステークホルダーによる効果的な官民連携の推進、「マルチステークホルダーパートナーシップ」によるゴールの達成が掲げられていることにも表れています。

貴協会におかれて、京都コンGRESの重要なイベントの一部であるバーチャル展示スペースに御出展いただき、犯罪の未然防止や再発防止につながる防犯画像技術など、犯罪防止・刑事司法分野における日本の最新技術を積極的にアピールしていただくことは、非常に意義深く、コンGRESに参加する世界中の専門家の興味を引くことは間違いないと確信しています。

コンGRESの開催まで残り僅かとなりましたが、法務省としてもしっかり準備をしてまいりたいと思いますので、引き続き御支援を賜りますようお願いいたします。



京都コンGRESのサイト

感謝 令和2年9月30日認定個人情報保護団体に認定

JEASは国内の工業会として、初めて認定個人情報保護団体に認定されました。認定個人情報保護団体とは、業界・事業分野ごとの民間による個人情報の保護の推進を図るために、自主的な取組を行うことを目的として、個人情報保護委員会の認定を受けた法人や団体のことです。

認定個人情報保護団体に関するお知らせ（個人情報保護委員会 HP より）



(写真) (左から)片岡参事官、福浦事務局長、丹野委員長、稲本会長(同協会)、近江副会長(同協会)

令和2年10月22日、工業会 日本万引防止システム協会に、認定個人情報保護団体の認定通知文書を手交しました。同協会は、令和2年9月30日に、新たに認定個人情報保護団体に認定されました。



JEAS 認定個人情報保護団体記念パンレット

認定個人情報保護団体認定の祝辞 有徳の士の方々より

認定個人情報保護団体認定の祝辞を有徳の士の方々より拝受しました。その一部をご紹介します。



国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）北京事務所長 高木重孝様より、新たな情報（中国のドローンの制度や利用実態）をいただきました。

高木様が個人情報保護委員会企画官だったとき、「防犯カメラや画像認識システムの安全利用のお勧め2017年度版」「顔画像を利用した来店客検知システム2018年度版」についてご指導いただきました。

認定個人情報保護団体になられたとのこと、認定おめでとうございます。防犯カメラの取り扱いについては、今後益々適正な利用が強く求められる時代になると思います。野放図な形で不適切なカメラ利用が社会の理解なく進むことは関係業界の皆様のためにも国民のためにもなりませんので、認定団体として、政府とともに適正なカメラ利用に向けた役割を積極的に担っていただくことを祈念申し上げます。



一般社団法人 全国警備業協会 研修センター次長 山本正彦様より以下のメールを頂戴しました。

全国警備業協会は認定個人情報保護団体一覧の最上位に記載され、山本様はその担当をされています。

このたびの認定個人情報保護団体としての認定おめでとうございます。

認定を受けるまでに大変なご苦勞があったことと推察いたします。

今後、認定団体の指針に賛同する対象事業者を増やしていくことが重要な課題となってくると存じますが、信念を貫き、一歩ずつ理解者を増やしていくことが肝心かと思います。

引き続き、御団体のご活躍を祈念申し上げます。



ひかり総合法律事務所 弁護士 板倉陽一郎先生は個人情報保護やプライバシー保護についてもっとも高い見識をお持ちの方です。万防機構の渋谷プロジェクト運用検証委員会として、渋谷書店万引対策共同プロジェクトを良き方向へお導きいただいております。

ご準備されていたのですね。誠にありがとうございます。

アクティブな認定個人情報保護団体は結構少ないのですが、会員社様たちとどうぞ盛んな活動を進めていって下さい。

引き続き宜しくお願い申し上げます。板倉



JEASの個人情報保護団体認定、誠に同慶に堪えません。わが国で「プライバシーか、セキュリティか」の二者択一の覚悟が、国民の間で伝統的に希薄な中であって、セキュリティを守る先兵の一員である万引防

止システム産業が、いわれのない非難を浴びることなく事業活動に邁進するためには、自ら個人情報保護の仕組みの保有と苦情処理の窓口の確保を社会に宣言する、個人情報保護団体としての認定を受けることが長年の課題でした。

しかしながら、慎重の上にも慎重に出来上がっている認定手続きのクリアと組織対応の障壁突破には大きなエネルギーを必要としたため長い期日を要しましたが、この度、JEAS 幹部の皆さん、とりわけ稲本会長の格別の尽力によって認定に至ったのは、誠にご同慶に堪えません。

この上は、少しでも多くの関連企業の皆様がこの仕組みの中に身を置かれ、胸を張って新たなセキュリティー事業に取り組まれることを心より祈念申し上げます。

(一財) 日本ヘルスケア協会 常務理事 佐藤 聖 拝

————— ◇ ————— ◇ —————

工業会日本万引防止システム協会 が認定個人情報保護団体になったことは、非常に喜ばしいことであり、おめでとうございます。頼りにされる団体になったということです。頑張りましょう。

この法律は、個人の情報を守るといことです。非常に重要な法律です。この法律をクリアしながら、

世の中の犯罪を減らすことができないと意味がありません。例えば、犯罪情報の共有等はずっと普及させねばなりません。正面から取り組んでゆかねばなりません。怖がっているだけでは犯罪が増えるだけです。

万防機構が進めている渋谷プロジェクトは企業間で犯人情報を情報共有するそのものです。次に進めようとしている緊急通報システムも個人情報に関係の深い情報を共有するものです。万防機構も認定個人情報保護団体をめざしていますので、工業会 JEAS から情報をいただきたいとも思っています。よろしくお願いします。
NPO 法人 全国万引犯罪防止機構 副理事長 福井

他にもたくさんの有徳の士の方々から、電話やショートメールで賛辞をいただきました。御礼申し上げます。
感謝 認定個人情報保護団体申請に関しては、この数年 JIPDEC（一般財団法人 日本情報経済社会推進協会）の坂下常務理事より度々助言をいただいた。坂下氏がいなかったら、認定個人情報保護団体になることを夢見なかったと思う。感謝に堪えない。

セキュリティ産業新聞10月25日号「顔認証技術は民主的利用を基底とする」証明の旅より

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20201025.pdf>

工業会 JEAS セミナー



令和2年11月5日（木）認定個人情報保護団体 認定記念行事として、『ADR（裁判外紛争解決手続き）基礎講座 ～初期の修復的対話をめざして～』が開催され、40名以上の会員及び関係の皆様が Teams にて参加されました。一般社団法人 EC ネットワーク 理事 沢田登志子様のご講演内容は、かつて無かったほどの高い評価「初めて知った内容。とても参考になった。など」を皆様よりいただきました。（詳細は Teams チャット参照のこと）なお、当日の資料は会員ページの b_24に格納致しました。

令和3年1月19日（火）認定個人情報保護団体認定記念行事として、新春セミナー『カメラ利用のためのマルチステークホルダープロセス』という演題で、渋谷書店プロジェクト検証委員会の板倉陽一郎弁護士にご講演を賜りました。総勢50名の方が参加し、板倉先生のお話を拝聴しました。なお、板倉弁護士とは昨年12月4日付けで、会として法律相談等をできるように委託契約を締結しております。

結びに皆様のご健勝を祈念し一本締め行いました。資料は会員ページの C_23に格納格納しました。

第 6 回 JEAS 講習会

10月23日（金）第 6 回 JEAS 講習会に25名（会場 8 名&ネット17名）が参加し開催されました。



15分勉強会について

令和 2 年 7 月 10 日（金）はシンメトリー・ディメンションズ・インクの沼倉代表に「CAD や VR を活用して万引をさせない売場などの活用事例」を講義いただきました。防犯道50年の先輩諸氏から新人までの多くの方が「これは凄い！」と感嘆されていました。

令和 2 年 9 月 18 日（金）は（一社）日本赤外線サーモグラフィ協会 福山事務局長様より、サーモカメラの基礎知識を学びました。

令和 2 年 12 月 4 日（金）はリテール AI 研究会代表 田中雄策氏に活動説明をお伺いしました。

新会員紹介

正会員

 **SGI** 株式会社 SGI ディレクター 水嶋 慶太 弊社は AI + IoT による次世代プロジェクトスマートシティ事業を推進しており、モバイルバッテリーレンタルサービス、無人店舗、スマート自販機、スマートセルフレジ、スマホロッカー、スマートハウスなどがございます。大切なお客様へ、より一層「安心」「安全」「快適」なソリューションを提供するため、最新技術の導入にも積極的に取り組んで参ります。

 **KYORINSHA** 株式会社杏林社 代表取締役 清永 浩史 杏林社の杏林（きょうりん）の由来は、古代中国の神仙伝に登場する医師、董奉(とうほう)に関する一説からで、董奉が貧しい患者からは治療代を受け取らない代わりに、杏の実を植えさせ、いつの日か実が樹となり林が出来た。その林から取れた果実で多くの人を救ったという故事、伝説から『杏林』は良医を表す語とされています。

もちろん私達は医師ではありませんが、杏林社だからこそできる仕事があると考えております。お客様に対する店舗セキュリティのみに止まらず、オリジナルの店舗備品や什器などの OEM も手掛け、様々なご要望の実現に取り組んでいます。

お客様の立場を誰よりも理解し、共に問題解決に向けて進んでいけるパートナーとなれるよう、日々精進してまいります。

特別会員

 **関西万引対策連合会** 会長 松田敦嗣 この度特別会員として皆様と活動を共にさせて頂くことになりました関西万引対策連合会でございます。
高齢者の規範意識までもが薄れ、何でもアリの歪んだ倫理観が横行する今の日本社会に喝を入れるべく「万引あかんで! オカン泣くで!」を合言葉に設立された有志組織です。

主として警察官 OB、私服保安警備会社、大手の小売業者、防犯設備士等で万引抑止の活動を基本に行動し、秋からは家庭裁判所のご依頼で万引少年の更生プログラムにも参加致します。

また、セルフレジシステムの盲点を突いた手口の研究やアジア系外国人及び日本人等の窃盗グループ情報の独自活用等、小売店舗の指導にも力を入れており、少しでも商品ロス対策等のお役に立てれば幸いと存じますので、皆様宜しくお願い申し上げます。



一般社団法人 リテール AI 研究会 代表理事 田中 雄策 リテール AI 研究会は「流通業の健全な DX 化のために第三者的な立場で“場”を作り、そこで企業間の垣根を越えた連携をすること」を目的に1997年7月に活動を開始しました。その後、世の中のリテール AI への関心、ニーズの高まりに合わせるように会員社も順調に増えています。研究会の主な活動は会員社向けにセミナーなどを通じた情報提供、分科会での実際に AI を使った販売実験、人材育成のための「リテール AI 検定の実施」などです。特に分科会実験では色々な知見もたまりますし、さまざまな企業の皆様と親密なコミュニケーションを取ることができます。当研究会にご興味がありましたらいつでもご説明いたしますので HP からお気軽にお問い合わせ下さい。

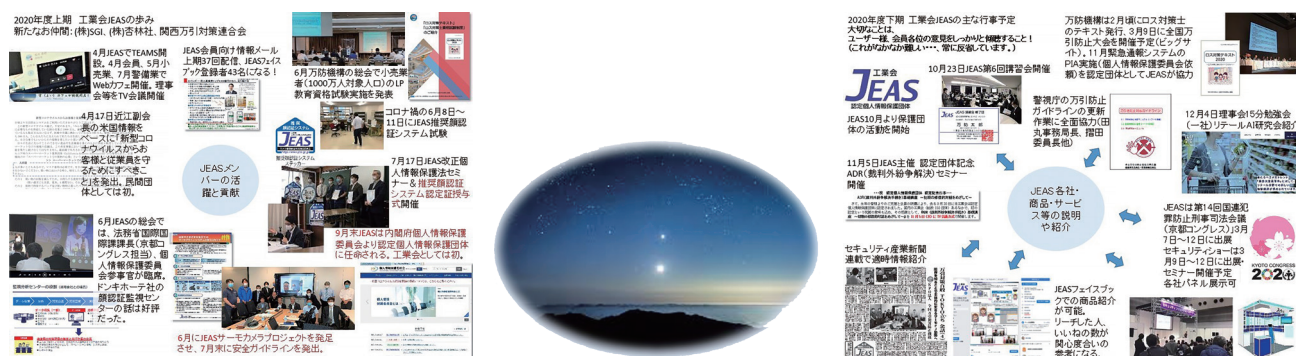
感謝状贈呈

令和2年8月31日（月）カメラ画像の安全利用に大きな貢献があった高千穂交易（株）ネットワーク映像シニアアドバイザーの森田勉氏に感謝状を贈呈しました。森田氏の未知なる領域の開拓が、新たな交流・交易を創造しております。

令和2年12月10日（木）TV 会議にて、（株）ファーストリテイリング（ユニクロ）を定年退職された佐藤誠氏への感謝の集いを行いました。ゆかりのある方々で、ロスプリベンションの意義と継続性を確認しました。佐藤様には感謝状と記念品をお贈りしました。

第4回宵カフェ開店（マスター JEAS 事務局）

認定個人情報保護認定を記念し、4回目となる Web カフェを令和2年10月9日（金）に開催しました。JEAS の上期のあゆみ&下期の行事予定を確認しながら自由闊達な意見交換をしました。



<http://www.jeas.gr.jp/pdf/20201004.pdf>

海外から来られた新たな仲間 vol. 2

「業界で活躍する女性の紹介」は、現在までに10人の方々をご紹介いたしました。新たに「海外から来られた新たな仲間」を開始しており、今回はお二人目の紹介をします。まだまだ日本社会は多様性に関し寛容でない部分が散見されます。それを改善し持続性のある社会の実現を目指した企画です。

<日本に来るきっかけと簡単な自己紹介>

(株)エイジスの人事総務部の孫兆彦(ソン チョウアン)と申します。1998年に来日して、現在43歳です。就職に有利な日本語を習得したいとの思いで来日しましたが、大卒後、日本でエイジスに入社し、現在に至っております。

<日本に来てよかったこと(うれしかったこと)>

単純に来日しているからでよかったことであれば、次の二点です。①生活環境(空気が新鮮で自然環境がいい、食品はクリーンで安全です)②先進的なものに日常的に触れられる(視野を広げると、社会インフラ、生活必需品など)

<日本でがっかりしたこと(残念だったこと)>

中国にいる親と離れているため親孝行はあまりできていないことは、個人的には、残念だと常々思います。

<趣味や生きがい>

私の趣味はスヌーカーです。日本チャンピオンを目指して頑張っています。勝つことだけではなく、世界一の人がなぜそんなに簡単に玉を入られているかその技術を追究していったら短時間で急成長できました。できれば、その技術をいつか本気でその道を目指している若い日本の方にアドバイスしたいです。



スヌーカー(Snooker)は、ビリヤード(キュースポーツ)の一形態。一般的なものよりテーブルが大きくて玉が小さく、ルールも異なる。特にイギリスにおいてはスヌーカーの試合のテレビ中継が盛んに行われている。また近年は香港・タイ・中国を中心にアジア諸国でも人気が高まってきている。

<私の夢>

長年取り組んできたことを世界的にも通用する理論として確立したいです。中身は秘密です。

<日本人へのアドバイス(助言)>

知識や思考力など、普通の方でも非常に高い能力を持っている方は驚くほどたくさんいます。大胆により上のポジションを狙っても全然成功できるよとアドバイスしたいし、それをしないのは惜しいなという思いです。

<これから日本で仕事をする海外の方々へのアドバイス(助言)>

日本語はさほど重要ではありません。近年、国際化により、日本企業で働く外国人は各段と増えています。安定的な仕事、生活を継続するにはより高レベルの知識など、優位性の保持が必要です。語学以外に、優位となるものをもつことは日本での仕事に重要ではないかとアドバイスさせていただきます。

「海外から来られた新たな仲間」

万引防止システムの業界には、海外から来日された方々、帰化された方々がいらっしゃいます。互いの相互理解を深めることで、温かな人間関係作り、生産性向上、その先にある社会の持続的再生産に貢献したいと思います。万引対策等の防犯活動の現場または支援活動の中で活躍されている海外から来られた新たな仲間を紹介いただきたく、お願い致します。

工業会 日本万引防止システム協会 総務委員会

‘声’ 2020年の出来事と2021年の抱負 ……つながる心……

■ 株式会社 オカムラ 雑賀 真良

2020年はコロナに始まりコロナで終わった1年でした。この出来事を象徴するように2020年を表す漢字の第1位は「密」、2位が「禍」、3位が「病」でした。私の2020年の一文字は「変」にしました。2020年はコロナの影響で、環境が変わり、人々の生活スタイルが変わり、衛生面での管理方法が変わり、何もかもが変わって

しまった年でした。

オカムラでは新型コロナに関するフェーズを3つに分けています。フェーズ1はエマージェンシーコロナ：緊急事態宣言期間・外出自粛・在宅勤務。フェーズ2はウイズコロナ：緊急事態宣言解除・外出自粛・在宅勤務・段階的出社。フェーズ3はアフターコロナ：ワクチン、特効薬他・行動制限解除、柔軟な働き方。2020年はフェーズ1と2でした。

2021年からはフェーズ3が始まります。オカムラでは2020年の新入社員は入社式・新人研修などすべてオンラインで行っており、リモートネイティブと言えます。デジタルネイティブでもあるこの世代の人達が求める働き方は、前世代と大きく変わることが予想されます。普段はリモートワーク、時々オフィスが一般的になりセンターオフィス機能も再定義されるでしょう。

2021年は全ての面で変化の加速する年であると思います。振り返って過去コロナによって色々あったけれども大きく人類が前進した年であったと言えるような年にしたいと思います。

■ 株式会社 三宅 田中 崇

多くの方がそうだと思いますが、2020年はまさしく激動の1年でした。「世の中がガラッと変わってしまった」ことを改めてひしひしと感じます。



幸いなことに本社の広島県については感染者が比較的少なく推移したのですが、東京事業所については、早い段階から事業継続の危機に直面したような状況でした。そんな中、当社としてまず重視したことは「従業員を守る」ということでした。

三宅社長指揮のもと、テレワーク・スーパーフレックスタイム制を導入することができました。原則として自宅で仕事を行い、出勤する際も混雑時間を避けて自分で勤務時間をコントロールすることができる。これによって一緒に働く仲間の安全・安心の確保につなげることができたと感じています。

写真は当社が重視する「変化への対応」を象徴するカメレオンです。もう元の世界に戻ることはありません。2021年はカメレオンとなり、コロナと共生し、更に飛躍できるよう努めてまいります。

■ 株式会社 JSS 林 俊一

大きな変革の時代の中、今自分たちが何をすべきか問い続けた一年でした。

当工業会において推奨顔認証システム審査を始めとする多くの取り組みを加盟各社様と進められたことは一警備会社では決して得られない経験でした。

万引犯もウィルス同様環境に合わせて変異してゆくでしょうが、当工業会加盟各社様の持つ高い技術力と深い洞察力をお借りしながら警備力を高め克服できると信じています。

■ ビブリオテカ・ジャパン株式会社 松崎 泰二

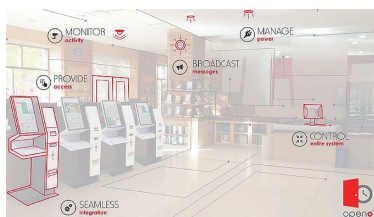
弊社は本社がスイスのグローバル展開の日本法人です。皆様同様にコロナ禍にてこの一年もがき苦しんだ年となりました。お客様への営業活動だけでなく国内は元より、製品を製造、供給している国からの（主にCN、UK、US）納品遅延などで少なからず影響を受けました。

しかしながらこのような状況だからこそ今後の変革への気付きがありました。各国とのネットミーティングは以前からあったものの、より頻繁となり、各国の情報やアイデアなど多くの情報を得ることが出来ました。我々が携わっております図書館業界も世界的に、人の流れや利用形態も大きく変革しようとしています。

その一つはデジタル図書館で、お客様がお持ちのデバイスを利用して、図書館がデジタルにて本を貸し出すクラウドライブラリーシステムです。ヨーロッパ各国、アメリカはこのクラウドライブラリーの活用で、USにありますサーバーがフルに活用されており、増強を余儀なくされているほどです。

もう一つは実際の図書館利用の変革提案といたしまして、無人図書館の提案と三密を避ける方法の提案となります。こちらもヨーロッパを中心に500館以上の導入拡大中とのことです。

手法は同じくクラウドシステムを利用し、無人化で個人認証を行い、安全に図書館を運営する手法や図書館の空き時間やスペースの予約システムとお客様のデバイスを繋ぎ、簡単に予約、活用が出来る技術提案です。



特に運営で人の活用が難しくなっている地方図書館や大都市で密になりやすい図書館をどう運営していくかの提案が可能なシステムです。ただ、日本に於いてはまだこのシステムを実行しているところはなく、2021年はまさにデジタル図書館元年といたして活動していく所存です。

この活用の内容は、セキュリティショー2021の3月9日 JEAS セミナーの中で、「海外の無人図書館の事例紹介」（仮題）として紹介するよう、会長に依頼されており準備をいたしております。これは国内図書館だけでなく無人化店舗の参考になる可能性もあるとのことで共にお知恵を拝借し、共に前に進めていければと考えております。

■ 株式会社 ゴジョウ・ウェイズ 佐藤 賢二

弊社は、JEASの方向性や実績を軸といたしまして、「北海道」という地域において各種施策を具現化すべく取組を進めております。北海道の地には、明治維新後に日本全国から受け継がれた古くかつ新しい歴史、文化が150年という歳月の中で確実に、着実に根付いております。それは、当時、夢や希望に満ちあふれた先人達が歯を食いしばって切り開いた「フロンティア精神」そのものであると確信いたしております。

2021年は、この地にて、北海道警察と北海道大学で研究なされた「犯罪脆弱者対策研究委員会」の万引犯罪抑止に関する提言も参考といたしまして、「犯罪を起こさない、起こさせない社会づくり」を目指します。また、本年開催されます「京都コンgres」の大成功を心から祈念申し上げます。

■ 株式会社店舗プランニング 飛永 泰男



コロナ禍で先の見えない年末年始となってしまいましたが、発熱検知サーモグラフィ・カメラの需要が一気に高まりました。サーモグラフィ・カメラは新たなスタンダードになる可能性が高く重要な製品だと強く感じております。

JEASで普及推進プロジェクトを立ち上げていただき、「サーモカメラ冊子」を発行いただいたことで、製品の特長もご理解いただけ、なにより一番重要な運用面での注意点を明記することで普及につながっております。さっそく弊社も「顔認証アクセスコントロール」を「発熱検知付き」に交換いたしました。また、弊社は光触媒でコロナウイルスを不活化させる「消臭除菌装置」を発売し、需要が高まっております。

これからも「安全・安心」をキーワードに、当工業会 JEAS の発展、セキュリティ業界に寄与できますよう、業務に精励いたす所存でございます。

※飛永理事にはサーモグラフィ・カメラ普及推進プロジェクトリーダーを務めていただきました。

■ 株式会社 GeoVision 桑原 春奈

この一年を振り返ると、弊社 GeoVision でもコロナを中心に色々な事がありましたが、そのような中で JEAS 推奨顔認証システム^(※)として弊社の顔認証システム JVS-GOFR が認定されたことは大変印象深い出来事でした。海外企業のシステムとして初めて、また現在のところ唯一、認定されたシステムとなったことは嬉しく誇らしく感じております。

一方で、顔認証はその技術への期待とともに個人情報保護に関する不安や懸念が取りざたされることもあり、まだまだ世間一般に広く受け入れられてはいないのだなとも思います。このコロナ禍において紆余曲折を経て新しい生活様式が世界中で受け入れられつつあるように、話題に上り議論をされれば、顔認証も

ニューノーマルとなっていくのではないのでしょうか。

2021年はポストコロナへ向けた更なる変化の年になるといわれております。コロナに限らず、様々なトピックにアンテナを張り、知見を深めて、先進的な取組を行える対応力を培っていきたいと思います。

■ アクシスコミュニケーションズ株式会社 松田 栄治

2020年は、事前に予想できなかった事態に見舞われた一年だったと思います。

当社の本社のスウェーデンの同僚と定期的に会議をするのですが、年初は「日本は大丈夫か」と心配される側だったのですが、時間の経過と共に、その対象が、欧州そして米国へと移行していき、このコロナという現象が、グローバルで進行していく様を目の当たりに致しました。

年の瀬から新年を迎えるにあたり、コロナの第三波の脅威にさせられております。残念ながら具体的な早期解決策や明確な収束見込み見えない中ではありますが、この世情に対応していかなければならないのも一つの事実かと思えます。

2021年は、明るい将来の見通しが描けるような年となり、それまでは皆で耐え、その後は大きな変化を生み出す、そのような大きな転機となるような一年であれば、と思い、日々を過ごしてまいりたいと思います。

■ パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社 新井 浩樹

2020年は意図せぬ形で生活も仕事も大きく変わってしまいました。生活面では自粛を求められイベントの中止が続き、楽しい思い出がなかなか思い浮かびません。仕事面でも設備投資の予算を凍結せざるを得ないお客様なども多く、大変な一年となりました。

一方で、WEB会議を使ったお客様訪問をはじめ、WEBセミナー・展示会などビジネスのあり方が大きく進化致しました。これは今までの延長線では成し得なかった非常に大きな変革だと感じております。

推奨顔認証システム制度^(※)の認定式もWEB中継で行われ非常に革新的でした。私も初のWEBセミナー講師を務め、対面とは異なる画面越しで伝えることに苦戦しつつも、たくさんの方にご覧頂きました。情報発信側（協会やメーカー）だけではなく、パートナー様・お客様側からも求められたことで実現したWin-Win-Winの取組であり、今後も続いていく新たな文化になると思っております。

2021年では、もう少し状況は続くと思いますが、画像解析技術の特徴である「非接触」をポイントに顔認証システムをはじめとした様々なソリューションで、お客様の現場・経営の課題解決に努めて参りたいと思います。

※小売業向け万引防止用「推奨顔認証システム制度」とは

推奨顔認証システム制度は、個人情報保護法を順守し、その運用が満足できるシステムを推奨します。推奨基準では、小売業の利用者が目的に合う使い方ができるように取扱説明書の記載内容を明確に指示し、個人情報の保護に関する法律に関して「カメラ画像の利活用を行なう際に注意する点を考慮」等の記載があり、性能面では誇大性能表示にならないように測定方法を明確化することなどを決めています。



推奨顔認証ステッカー



令和2年7月17日「推奨顔認証システム」認定証の授与式



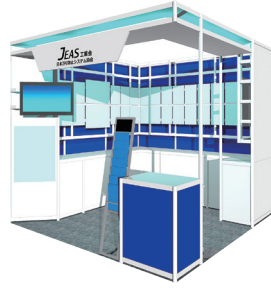
制度の説明

京都コンGRESとセキュリティショー2021の予定

今後のイベント情報ですが、3月7日～12日に国立京都国際会館で開催される第14回国連犯罪防止刑事司法会議（京都コンgres）にバーチャル出展します。

また、3月9日～12日に東京ビッグサイトで開催されるセキュリティショー2021に出展し、3月9日13:00-14:00には会場内のセミナー「小売業のデジタルトランスフォーメーション&ロス・プリベンスの進化の事例」（仮称）の中で、無人図書館、警備&顔認証システム活用（小型店も対応）、店舗間万引等緊急通報システム、セルフレジ不正対策などで効果があった事例を一挙公開します。

セキュリティショー JEAS ブースは南4ホール SS3008



JEAS 京都コンgres 記念サイト ～各社の商品・サービス紹介& JEAS 紹介ビデオ～

全国万引犯罪防止機構「ロス対策士資格試験制度」のご紹介



「ロス対策士資格試験制度」は本年4月スタートを目指しており、そのバイブルとなる「ロス対策テキスト」は2月に完成します。「ロス対策テキスト」は、ロスのひとつの要因である万引犯罪の予防防止策にとどまらず、小売業などの事業収益の健全化に貢献するだけでなく、コロナ禍のさなか、エッセンシャル・ワーカーとして小売業の最前線で働くおよそ400万人ともいわれる従業員の方々にとっても安心して働ける職場環境の改善につながります。

併せてカメラやEASといった防犯設備機器や人的な保安警備を提供するJEAS会員各社で活躍される皆さんにとっても貴重なノウハウを学ぶチャンスです。小売業の方々と、この「ロス対策テキスト」を共通の知識ベースとして、一致団結して小売店における犯罪不正とロス削減に向けて取り組んでいきましょう。そのためにも、ぜひともこの機会に皆様の本制度へのご賛同とご参加を期待します。

関連情報：全国万引犯罪防止機構サイト

万引対策百般T O K Y O 立ち余話 / コロナ時代を共に生きる LP 担当者向けの応援歌

<http://www.manboukikou.jp>

工業会 日本万引防止システム協会のご案内

工業会 日本万引防止システム協会は、EAS 機器等の万引防止システムを製造・販売する企業の業界団体であり、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止という産業的・社会的役割を果たすべく、行政機関、関連業界団体とともに連携をとり活動しています。

■目的

本会は、万引防止システムの産業的、社会的な役割を果たすために、万引防止システムの円滑な普及・発展に資する制度・政策・計画等の建議と実行、行政機関・関連業界団体あるいは生活者等の間での認識向上、相互の間の調整、万引防止システムに関する内外の情報収集と提供を行い、業界の健全な発展と安全で豊かな国民生活に寄与することを目的とする。

■会員の種別

(1) 正会員

本会の目的に賛同して入会した次の企業および団体とする

- 万引防止システム製造ないし販売している企業および団体
- 今後、万引防止システムを販売ないし提供しようとする企業および団体
- 万引防止に関連するサービスを提供する業界（警備業等）や関連業界（防犯カメラ設備等）に属する企業など
- 万引防止システムを販売ないし提供する企業に対し商品や部品の供給事業を行う企業および団体

(2) 賛助会員

本会の事業を賛助するために入会した次の企業および団体とする

- 小売業に商品供給しているメーカーおよび物流企業
- 小売業にサービスを供給している企業および団体

(3) 特別会員

本会の目的に賛同し、協力をする団体会員

■会費（2019年6月6日改訂）

	年間売上金額	年間会費 万円
正会員 ①	40億円以上	33
②	20億円以上、40億円未満	28
③	10億円以上、20億円未満	22
④	5億円以上、10億円未満	17
⑤	3億円以上、5億円未満	13
⑥	1億円以上、3億円未満	11
⑦	1億円未満	9
賛助会員		4
特別会員		無料

基本は内部不正対策などを含むロス対策に関わるシステム販売の年間国内売上に応じた年間会費とする。

■入会条件、入会申し込みはこちらのサイトをご確認ください。

<http://www.jeas.gr.jp/intro06.html>

新規入会企業および団体を募っています。

- ◎万引防止システムを製造ないし販売している企業の皆様
- ◎万引防止対策を担当している警備業や防犯カメラ設備に属する企業の皆様



令和２年度(2020年度)工業会 日本万引防止システム協会 役職一覧

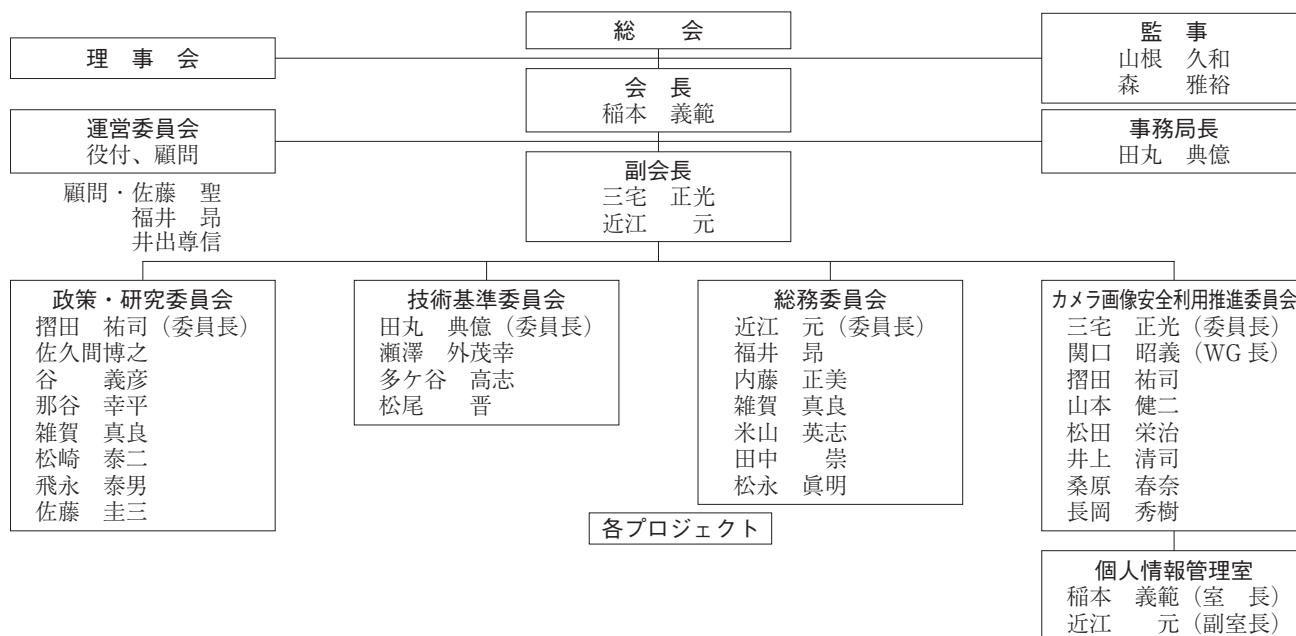
No.	工業会役職	社名・団体名	役職名	氏名
1	会長	高千穂交易（株）	事業開発室上席コンサルタント	稲本義範
2	副会長（カメラ画像安全利用推進委員長）	（株） 三宅	代表取締役社長	三宅正光
3	副会長（総務委員長）	NPO 法人 全国万引犯罪防止機構	理事 LP 教育制度作成委員長	近江 元
4	理事（政策・研究委員会）	IDEC ファクトリーソリューションズ（株）	EAS 営業部 部長	谷 義彦
5	理事（政策・研究委員会）	キャトルプラン（株）	代表取締役社長	佐藤圭三
6	理事（政策・研究委員会）	（株） セキュリティデザイン	資材購買部長	那谷幸平
7	理事（政策・研究委員会）	（株） 店舗プランニング	代表取締役	飛永泰男
8	理事（政策・研究委員長）	日本電気（株）	関東甲信越支社 産業第二営業部	摺田祐司
9	理事（政策・研究委員会）	ビブリオテカ・ジャパン（株）	営業部部長	松崎泰二（新任）
10	理事・顧問（総務委員会）	マイティキューブ（株）	顧問	福井 昂
11	理事（総務委員会）	チェスコムアドバンス（株）	常務取締役	内藤正美
12	理事（総務委員会）	（株） オカムラ	商環境事業本部	雑賀真良
13	理事（総務委員会）	（株） エイジス	新規事業推進室長	米山英志
14	理事（事務局長、技術基準委員長）	タカヤ（株）	事業開発本部 R F 事業部 営業部 S S 担当マネージャー	田丸典億
15	理事（カメラ画像安全利用推進委員会）	グローリー（株）	国内事業本部 販売企画統括部 生体・画像認識販売 企画一部 販売企画グループ グループマネージャー	山本健二
16	理事（カメラ画像安全利用推進委員会）	アクシスコミュニケーションズ（株）	事業開発部 リテールディベロップメントマ ネージャー	松田栄治
	監事	Matsuo Sangyo（株）	執行役員統括部長	森 雅裕（新任）
	監事	セフト HD（株）	代表取締役社長	山根久和

敬称略・順不同

顧 問

佐藤 聖（一財）流通システム開発センター 元調査部長、福井 昂 マイティキューブ（株）
井出尊信 高千穂交易（株）代表取締役社長

令和２年度(2020年度)工業会 日本万引防止システム協会組織図



会 員 名 簿

【正会員】

企業・団体名

アイアンドティテック(株)
IDEC ファクトリーソリューションズ(株)
アクシスコミュニケーションズ(株)
アドセック(株)
(株)エイジス
(株)SGI
NECソリューションイノベータ(株)
エム・ケー・パビック(株)
(株)オカムラ
(株)キャトルプラン
(株)杏林社
グローリー(株)
(株)ゴジョウ・ウェイズ
(株)KSM
KDDI(株)
サクサ(株)
(株)セキュリティデザイン

企業・団体名

CIA(株)
(株)GeoVision
シグマ(株)
セコム(株)
セフトHD(株)
高千穂交易(株)
タカヤ(株)
チェスコムアドバンス(株)
チェックポイントジャパン(株)
(株)店舗プランニング
日本電気(株)
パナソニックシステムソリューションズ
ジャパン(株)
ビブリオテカ・ジャパン(株)
マイティキューブ(株)
Matsuo Sangyo(株)
(株)三宅

正会員数 33社

【賛助会員】

企業・団体名

沖電気工業(株)
(株)自己啓発協会
西武産業(株)
(株)日本保安
(株)ロケット
(株)JSS
サニーヘルス(株)

【特別会員】

企業・団体名

公益社団法人 日本防犯設備協会
一般社団法人 日本自動認識システム協会
一般社団法人 全国警備業協会
NPO 法人 全国万引犯罪防止機構
関西万引対策連合会
一般社団法人リテール AI 研究会
タグ&パック事務局

※50音順（2021年2月5日現在）

工業会 日本万引防止システム協会 会報 第34号

発行日：2021年2月5日 発行人：稲本義範
発行：工業会 日本万引防止システム協会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1
YOTSUYA TOWER 7階
TEL：03-3355-2322 FAX：03-3355-2344
<https://www.jeas.gr.jp/>
<https://www.facebook.com/JEAS.JAPAN/>
法人番号：9700150096387
※JEASは昨年5月25日に住所変更しました。

ご相談窓口について

工業会 日本万引防止システム協会では、万引防止システム全般に関するご相談の窓口を開設しております。

ご相談窓口では、皆様からの EAS 機器等の万引防止システムに関するご質問、ご相談、苦情などをお受けしております。ご連絡先は、左記の工業会日本万引防止システム協会事務局宛となります。